



2024年11月12日

各位

会社名 株式会社 i s p a c e
代表者名 代表取締役 CEO 袴田 武史
(コード番号: 9348 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 野崎 順平
(TEL.03-6277-6451)

営業外費用及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2025年3月期第2四半期連結会計期間（2024年7月1日～2024年9月30日）において、下記のとおり営業外費用（為替差損）及び特別損失（減損損失）を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の内容

当第2四半期連結会計期間（2024年7月1日～2024年9月30日）において、為替差損2,223百万円を営業外費用に計上します。上記の金額は、主に当社連結子会社に対する外貨建貸付金の当四半期末（2024年9月末日）時点の為替相場による評価替えにより発生したものです。

尚、当第1四半期連結累計期間（2024年4月1日～2024年6月30日）において、為替差益858百万円を計上していたため、当期連結累計期間（2024年4月1日～2025年9月30日）における為替差損は1,364百万円となります。

2. 特別損失（減損損失）の内容

当社グループは、月面開発事業の単一セグメントであります。経営管理単位を勘案し事業用資産についてグルーピングを行っております。以下の資産グループにおける使用方法の変更により、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を下回ったため、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。それに伴い、当第2四半期連結会計期間（2024年7月1日～2024年9月30日）において、減損損失596百万円を特別損失に計上します。

場所	用途	種類	金額（百万円）
東京都中央区	月面開発事業用資産	工具、器具備品	77
		前払費用	110
		長期前払費	287
		その他	122
合計			596

3. 業績への影響について

上記の営業外費用（為替差損）及び特別損失（減損損失）の計上による業績への影響につきましては、本日公表の「2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しています。

以上